

令和5年度 戸塚区運営方針

〈基本目標〉

こころ豊かに つながる笑顔 元気なとつか

とつかに関わるすべての人が「住みたい、住み続けたい」と思うまちづくりを進めるため、戸塚区の基本目標や施策をまとめた「運営方針」を策定しました。目標達成に向けた主な取組についてご紹介します。

区長メッセージ



地域活動や経済活動が再び動き始めました。今年度は「再始動!」「リスタート!」を合言葉に、エンジン全開で取組を進め、戸塚を盛り上げていきます。区民の皆様にご寄り添い、正確・丁寧・分かりやすい対応を行い、ご満足いただける行政サービスを目指します。

戸塚区長 國本 直哉



人と人がつながるまちづくり 21,967千円

自治会町内会をはじめとするさまざまな団体の活動を支援するとともに、人と人、地域同士のつながりや戸塚への愛着を深めるまちづくりを進めます。

とつか地域づくり支援

地域向けの各種講座の開催や居場所づくり、地域のデジタル活用に向けた活動を支援します。



地域の居場所づくり

戸塚区民まつり

活気ある地域交流の促進や郷土愛を醸成するため、区民が主役の「戸塚ふれあい区民まつり」や「戸塚ふれあい文化祭」を開催します。



戸塚ふれあい区民まつり

安全・安心を実感できるまちづくり 25,544千円

地域の特性に応じた自助・共助の取組を進め、防災・減災力を強化します。また、防犯や交通安全、食の安全などにも取り組みます。

防災・減災への取組

マンション管理組合や自治会町内会など、地域の防災組織などの対応力強化や、防災マップなどの配布による自助の取組支援を行います。



店舗での防災啓発イベント

地域の防犯・交通安全対策

迷惑電話防止機能付き電話機の購入に対する補助など特殊詐欺の撲滅に向けた取組や、区内小学生が考えた標語を活用した交通安全・防犯の啓発活動を実施します。



小学生を対象とした防犯イベント



第4期
ハートプランを
着実に
推進します!



とつかハートプランマスコット
こころん



▲第4期とつか
ハートプランは
こちら

誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくり 28,039千円

誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現を目指します。特に妊娠から乳幼児期まで切れ目のないサポートを通じて、子育て支援に力を入れます。

切れ目なく 力強い子育て支援

妊娠から乳幼児期まで、両親教室や育児支援講座など切れ目のないサポートで、安心して出産・子育てができる環境づくりを進めます。



両親教室

幅広い世代の 健康づくり

乳幼児の食育教室、歯や口腔ケアの啓発、特定健診受診率向上に向けた取組など、健康づくりの場や機会を広げます。



地域での健康講座

高齢者・障害者の 暮らし支援

ひとり暮らし高齢者などを「訪問」と「みまもり」により地域社会全体で助けあい、支える仕組みづくりを推進します。



地域のみまもり活動

区民に信頼され親しまれる 区役所づくり 8,348千円

安心して快適に行政サービスをご利用いただくため、さまざまな広報資源を活用しながら、行政情報を分かりやすく発信します。

来庁者サービスの 向上

区役所窓口混雑情報の配信や、来庁者向けWi-Fi利用環境、職員の対応マナー向上により便利で快適にご利用いただける区役所づくりを進めます。



区役所窓口のご案内

活気に満ちた魅力あふれるまちづくり 20,595千円

地域経済の活性化の後押しや、まちの特色を生かしたイベントなどの開催により、とつかの魅力を発信します。

中小企業・ 商店街の活性化推進

「戸塚ものづくり自慢展」をはじめとするイベントなどの開催により地域経済の活性化を後押しします。



戸塚ものづくり自慢展

まちの魅力・ 賑いづくり

ストリートライブや区民コンサートなどの開催を通じた「音楽の街とつか」としての魅力発信や宿場まつり開催による賑わいづくりを図ります。



とつかストリートライブ

脱炭素社会・ 環境にやさしいまちづくり

冊子や動画など、さまざまなツールを用いて幅広い層への普及啓発を行うとともに、区役所の「燃料電池自動車」などを活用した環境教育を実施します。



燃料電池自動車を使用した普及啓発(イメージ)



横浜市中期計画の基本戦略である「子育てしたいまち 次世代をともに育むまち ヨコハマ」の実現に向けて上記取組を推進します。

☎ 運営方針について:区役所企画調整係 (☎ 866-8327 ☎ 862-3054)

次の4つの視点に重点をおいて予算編成を行い、戸塚区一丸となり、区民の皆様の誰もが安全に安心して暮らせるまちの実現を目指します。

☎ 予算について:区役所予算調整係 (☎ 866-8309 ☎ 881-0241)



防災・減災



子育て



デジタル



脱炭素

